

お西さん

通巻139号
平成7年11月11日発行



恭賀新年
南無阿彌陀佛

一日 いちにち 新らしく
一年 いちねん 珍らしく
お念仏に 喚び覚まされ
かけがえのないものに遇い
かけがえのない喜びを知る
本年もまた ようこそ ようこそ

平成七年の元旦は、こんな年賀状を贈らせて頂きました。

この別院に赴任して早や一年半余、未だ曾ってない新しい珍らしい日々を送らせてもらっています。

時は容赦なく流れてゆきます。時間を止めることはできません。

しかし、時を私の上に刻みつけ、自分自身を避えらせることはできるようです。

それを、時とともに生き、時を生かすともいえるのでしょうか。

よく晴れた朝、突き抜けるような空の色・青い光を見ると、思わず「ホッカイドウ」と叫びたくなります。

時どきに いのち輝く 旭かな

函館別院 輪番 佐々木 俊朗



西本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647



お西さんしあわせ電話

ちよつと耳をかたおけてみませんか

0138 27局 2424番

聞こう//学ぼう//味わおう//24時間いつでもどうぞ。

- 1月1日面～1月7日出し 輪番
- 1月8日面～1月14日出し 上戸 承 社
- 1月15日面～1月21日出し 山岸 承 社
- 1月22日面～1月28日出し 石丸 承 社
- 1月29日面～2月4日出し 黒田 承 社
- 2月5日面～2月11日出し 利国 主任
- 2月12日面～2月18日出し 神田 参 勤
- 2月19日面～2月25日出し 小笠原 承 社
- 2月26日面～3月4日出し 芝田 参 勤

イノベーター上人が、やって来た。

'98 蓮如上人ビッグフェスタ



RENNYO-SHONIN BIG FESTA 500

美原四丁目の川村さん、先
日お参りに行った時、御文章
についていろんな質問をして
くれました。あの時はきちんと
と答えることができず、逆に
私の方が勉強になりました。
私も勉強しますので、これか
らもう少し質問して下さい。

(山)

半年の歳月を掛け一人で車
庫を建てた方がいます。その
方は吉川町に住む船矢さんで
す。土台を埋める穴掘りなど
すべて一人の手作業です。
少しずつできあがって行く
のは格別なものだそうですが
私も近くを通りかかる度に気
にかかり、できあがって行く
のが楽しみで拝見していまし
た。

ようやくできあがりよかつ
たですね。これからのいろいろ
なものを作して下さい。
追伸、シベリヤ鉄道の列車
に乗っていて寝られた息子さ
んが無事でよかったですね。

(利)

婦人会々員で、班長もやっ
ていただいている堀川町の八
木さん。お寺の行事があるた
びにお寺の中を右へ左へと元
気に走る姿、あなたの笑顔が
お寺を動かします。悲しみを
ご縁として、よろこび、と転
じていく世界を身体で表現し
ている姿がまぶしいです。

(徹)

本通の松井さん、胆石の手
術を受け、つい先日退院され
たばかり、十六針も縫合、完
治まで半年位かかるとの事。
皆様の中にも手術をされた方
いませんか？手術よりも術後
が大切、どうかご養生、ご自愛
下さい。

高丘町の遠藤さん、先日の
月忌参りのとき、藤野家の通
夜法話をお聞きになり、お寺
さん全員が聴聞されていた姿
勢に深く感動されましたね
これからもお互い、お聴聞を
続けたいものです。

(上)

ふれ愛 声ラランド

七飯大川の江畑さんは、い
つも温かい手料理を作って下
さいませ。自宅横の畑で取れ
た旬の物はどれも最高です。
なかでもカボチャハンバーグ
は珍しく、おいしく頂きました。
私にとつての函館のおっ
かさん、これからもよろしく
お願いします。

(芝)

先日、婦人会の報恩講に参
加された柳町の青木さん、後
日「とても楽しかったよ」と
お話ししてくれました。「今まで
お寺に行く機会も少なく、こ
ういった集りがあることをあ
まり知らなかったけれど、こ
れからは参加していきたいで
すね」との事。お寺では色々な
行事、催しがありますし、そ
の中でのいろいろな出会いもあ
ると思います。どうぞ気軽に
いらして下さい。お待ちして
いますよ。

(小)

謹賀新年・南無阿彌陀仏
北国で二度目のお正月を迎え
ます。なかなかこちらの寒さ
になじめない私です。月忌参
りを終えて、玄関を出ようと
するときに、風邪をひかないよ
うに気をつけてね。「雪道の
運転、用心してください」と
いうみなさんの声が、私の心
を暖かくしてくれます。今年
もどうぞよろしくお願いま
す。

(石)

院別函館そこのようへ

こんにちはは布教使さん



北海道雨竜郡雨竜町
専福寺
萩原 光因 先生

Q、函館の印象はどうですか？

初めて函館線の常例布教に御縁をいただい
た事ですが、だんだんと南の方へ向かうにつれ
て、季節柄が、私の住む地域よりも暖かい所
だなあという感じがしました。

先日、車で函館山に登って来ましたが、海
がとてもきれいで雪が少ないという事と共に
とても魅力的な街です。

Q、先生の出身地の良さを教えてください。

雨竜郡雨竜町は特にこれといった観光施設
があるわけではありませんが、国定公園に指
定されている磐梯別岳や、雨竜沼湿原といっ
た高山植物の多い自然に恵まれた町です。ヒ
マワリで有名になった隣町、北竜町とよく間
違われるのですが、毎年登山者が多く訪れる
所です。石狩川と雨竜川が合流する地点で、
稲作が盛んです。

Q、門信徒の皆さんへメッセージをお願いします。

初めての御縁でありましたが、ご聴聞され
ておられるお同行の方々の姿勢には頭が下が
る思いでした。
つたないお取り次ぎでしたが、共々にお念
仏を本として歩ませていただきました。

仏教婦人会報恩講厳修



仏教婦人会主催の報恩講の後、
職員を交えてのお齋

海岸町の上坂英二様より
過日、ご往生されました上坂はぎのさんの
息子さんより、お世話になった仏教婦人会
の方々と花紙をご寄贈いただきました。
どうもありがとうございます。

ボーイスカウト 歳末助け合い募金 12月11日 大門にて

寒風の中、恒例の募金を行いました。
「ご苦労様、ガンバッテネ」
募金して下さった方々が優しく声
をかけてくれます。皆様方の善意
により、50,450円ものご協力をい
ただきました。
ありがとうございました。



ありがとうございました/
(元気にかけてはピカ)



隊長の車の中で、お昼です。
(この後の掃除が...)



オマケフォト
(ピーパーのやさいもづくり)

幼稚園だより

「頑張った生活発表会」

西田 留美子先生

幼稚園の一大イベントである生活発表会が、11月30日、西別院文化会館で行なわれました。

初めての会場という事もあり、私達職員もソワソワ落ち着かず、子ども達も広い控室やロビーで走り回るなど、はしゃぐ姿が見られました。

舞台の幕が開くと、お父さんやお母さんに手を振ったり、緊張して表情がたなくなった子ども達も歌や楽器、お遊戯を頑張って発表する事が出来ました。

入園当所、泣いてばかりいた子や、なかなか集団で行動する事が出来なかった子が、仲間と一緒に一生懸命お遊戯をしている。



その子ども達一人ひとりの姿を見て、「成長したなあ」と胸が熱くなりました。

ひとつ行事を終えるたびに大きくなっていく子ども達。この生活発表会を経験した事で仲間と一緒に頑張る事の大切さを学ぶことが出来たのではないかと思います。

Topics

タイム カプセル



昭和7年撮影

今年の報恩講を前にしての事でした。今年も例年以上に、スミからスミ迄掃除に時間をかけました。いつもはあまり気にしない倉庫を整理しているとは、こりに埋もれた額を発見。何だろさか？そう思い息をフーと吹きかけてみるとセピア色の写真が4枚、現れました。昭和7年に撮影されたものです。よくよく見て下さい。レトロでしょう。又、何より当時の活気が伝わってきます。現在の別院も活気を取り戻そうとしています。写真の様に境内一杯にご門徒の方々があふれる姿を次の世に残していきたいと思います。写真を見つめ心からそう思った事です。

(芝)

イキイキ 門徒さんコーナー



近頃の西別院、すっかり明るくなりましたよね。雰囲気もそうなんですけど、実際にピカピカ輝いていると思いませんか。これには味方玲子さんに夏頃からずっと、そうじのお手伝いに来ていただいているんです。おかげで本堂、納骨堂、文化会館、その他いろんな部屋が前にもましてみちがえるようにきれいになりました。

私には、まるで「塵を払おう、垢を除こう」といってお悟りを開かれた、仏弟子の「周利賢特」(しゆりはんどく)さんに思えてならないのです。合掌

(石)

御正忌法要厳修

函館別院では報恩講を十月に勤めています。御本山では毎年一月九日より十六日まで「御正忌報恩講」が厳修されています。

当別院にても、この御正忌のお勤めを致しますのでどうぞ御参拝下さいませよう御案内致します。

●平成七年

一月十四日 午後一時半より

十五日 午後一時半より

十六日 午後一時より

●講師 本願寺布教使 吉村 善充 師

常例布教

二月・二月

- 十一月 午後一時半(あそか会)
- 十二月 (法友会)
- 十三日 (先真講)
- 十四日 午後一時半 輪番法話
- 十六日 午後十二時半 輪番法話

- 1月 山越部八雲町 西教寺 吉村 善充 師
- 2月 函館市宮岡町 正光寺 高松 周 環 師

教化サークル

二月・二月

- 婦人会 (黒田、神田)
 - 一月二十三日 新年会
 - 二月二十三日 例会
- 仏教壮年会 (利国、小笠原)
 - 一月 新年会
 - 二月 研修会
- 覚信尼会 (神田、上戸)
 - 一月十日 新年会
 - 二月十四日 研修会法話
- ボーイスカウト (芝田、黒田、上戸、山岸)
 - 毎月プログラム発行
- 白蓮会 (利国)
 - 毎月十四日 十二時半より
- 仏教に学ぶ会 (利国、石丸)
 - 毎月八日.....お経の練習
 - 毎月二十八日.....「御文章」の輪読
- 仏教青年会 (芝田、上戸)
 - 一月 後日連絡
 - 二月 後日連絡
- ビハークラ (利国、神田)
 - その都度連絡
- 日曜学校 (黒田、黒田(敬))
 - 一月 講習会参加(札幌)
 - 二月 第二土曜日
- 土曜の会
 - 一月二十八日 午後一時半より
 - 二月二十五日 日吉一丁目熊谷宅にて



哀悼録

平成六年十一月十二日の間に亡くなられた方々。生前のご苦労お取持ちを期し心より冥福の事を致します。

永代経想志上納者

- 一周忌 平成六年
- 三回忌 平成五年
- 七回忌 昭和六十四年・平成元年
- 十三回忌 昭和五十八年
- 十七回忌 昭和五十四年
- 二十五回忌 昭和四十六年
- 三十三回忌 昭和三十八年
- 五十回忌 昭和二十一年
- 百回忌 明治二十九年

平成七年度年回表

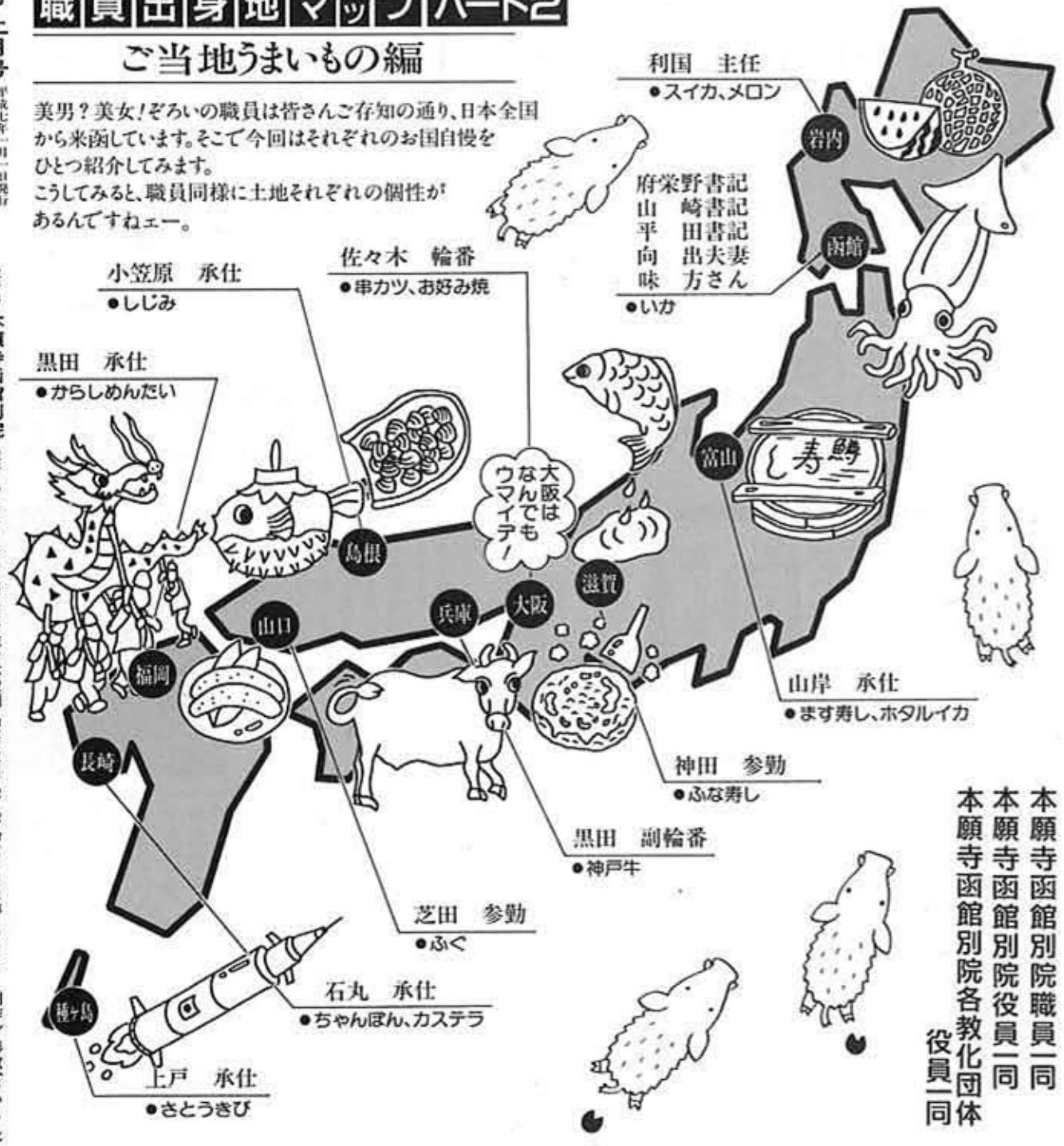
過去帳をお調べになって、法要は早い内に、お寺にご相談下さい。

今年もよろしくお願ひいたします。

職員出身地マップパート2

ご当地うまいもの編

美男?美女!どろいの職員は皆さんご存知の通り、日本全国から来函しています。そこで今回はそれぞれのお国自慢をひとつ紹介してみます。こうしてみると、職員同様に土地それぞれの個性があるんですねー。



本願寺函館別院職員一同
本願寺函館別院役員一同
本願寺函館別院各教化団体
役員一同

お西さん 一月・二月号

平成七年一月一日発行
発行所 本願寺函館別院 発行人 代表者 本願寺函館別院 佐々木俊朗 函館市東川町12 電話 01382510647 制作/彩数(さいもん)

お便り 大募集

仏教に関わるご質問や、どんなことでも結構です。「お西さん」にてお答えします。募集期間が手紙でお知らせです。

又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。どうぞ、お気軽にお便り下さい。

三講合同新年会

- 日時 1月26日(木) 午後2時より
- 場所 湯の浜ホテル
- 会費 5,000円
- ※お申し込みは寺務所まで。

十六日会新年会

- 日時 1月16日(月) (御正忌法要後)
- 午後2時頃より
- 場所 西別院文化会館
- 会費 1,000円
- ※会費は当日いただきます。

仏教婦人会新年会

- 日時 1月23日(月)
- 午後1時より
- 場所 別院本堂にて

中央仏教学院 特別講演会の案内

- 日時 平成7年2月19日(日) 午後1時30分より
- 場所 西別院文化会館
- 講師 中央仏教学院講師 北畠晃融 師
- ※会費は無料です。
- ※皆さんお誘い合わせの上、お越し下さい。